

てくてく北九州



the WALKING NEWSPAPER
西日本新聞北九州本社

発行所：西日本新聞北九州本社 北九州市小倉北区堺町 1-2-16 十八銀行第一生命共同ビル4F 編集部 ☎093 (541) 9300

次回発行2012年7月1日(日)

自分らしく生きる 社会を目指して

結婚、出産、育児と、環境の変化に対応しながら仕事と家庭を充実させている人が増えています。籠田淳子さん(46)は母として、また経営者として「ワーク・ライフ・バランス」を実践している一人です。



スタンドグラスのデザイン過程で、色と光に意味をこめていく作業中、随所で女性の感性とチームワークが発揮されています

「ワーク・ライフ・バランス」の和訳は「仕事と生活の調和」。人生の各段階に応じて、多様な生き方を

選択・実践できる世の中を目指そう、というスローガンです。北九州市でも積極的に取り組み、推進に取り

組む企業や団体、個人を表彰しています。小倉北区で設計やデザイン・商品開発業を営む(有)ゼムケンサービスの籠田さんは、過去に2度の表彰を受けたワーク・ライフ・バランスの達人。「職場も家庭も環境をきちんと整えることで、誰もがわかりやすくかわることができま

す。半年前に夫が急逝してからは、子どもが家事に参加しやすいよう台所や収納をリフォーム。夫が担当していた朝ごはんの支度、犬の散歩、洗濯物をたたむ仕事などを中一の息子が引き継いでいます」と言います。

また、社員9人のうち8人が女性という社内でも仕事と生活のバランスを重視した。「女性の視点・感性を生かしたマーケティング事業が我が社の売り。ワーク・ライフ・バランスを進めて、女性の『あつたらしい』なを形にしていきたいですね」と語る籠田さんの笑顔に、同じ女性として背中をぐっと押された気がしました。(谷口淑子)



社員手帳をつくり5年目、他社のオリジナル手帳も開発するように、自分の夢を仕事や家庭生活に取り込める、ワークライフバランス手帳です

行ってきました。見てきました。 Report



完成したマイカップを持って集合。前列左から3番目が講師の永末万利子さん

マイブランドのマグカップ作り 「初めてのポーセラーツ教室」

真っ白な磁器を好みの柄で彩るポーセラーツ教室。生涯学習市民講座の一環として、5月29日に大里柳市民センター(門司区)で行われ、20人が参加しました。

シール状の転写紙を使って絵付けをするため、初心者でも手軽にできるポーセラーツ。5種類から好きな模様を選び、自由に配置を考えながら、オリジナルカップを作りました。初めて参加した石飛千春さん(50)は、「思ったよりも簡単に、楽しかったです」と笑顔。「みんな違うものができておもしろい」「プレゼントにもいい」と盛さん大満足の様子でした。(神田優紀)